

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
論理学	1年 前期	1	15	(大学講師として36年)
科目のねらい 文章の読み書きを通して、論理的なものの見方、考え方、表現する力を養う。				
到達目標 論理的思考に必要な基礎知識を学び、看護に必要な論理的思考力と伝達力(文章力)を身につける。				
DPとの関連 ◎1.多様な文化や価値観を受け入れ、対象を身体的・精神的・社会的に統合された生活者としてとらえることができる。 ◎2.人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1 2	1. 人間の言葉としての言語の特徴を説明できる 2. 日本語の特徴について説明できる	1. 言語の働き:思考と伝達 2. 言語と文字、言語と文化の関連 3. 文法、論理、修辞法 4. 知性の世界と感性の世界 1. 日本語の性質と文法 2. 日本語の表現における留意点	講義	
3 4 5 6	3. 論理学の基礎について説明できる	1. 哲学体系の中の論理学 2. 論理的な考え方の基礎 1) 演繹法と帰納法 2) 三段論法 3) 間違った論理の展開(誤謬) 3. 科学的方法論 4. 弁証法	講義	
7 8	4. 論理的な文章の書き方・口述の仕方が説明できる	1. 実用文(情報伝達型)と芸術文(自己表現型) 1) 論理的文章とは情報伝達文章のことである 2) 読み手が誰なのかを考える 3) レポート・論文の書き方 4) プレゼンテーションでの論理の活用 2. 論理的なコミュニケーションの習得 1) 主観と客観 2) 複数の立場に身を置き、他者の視点から考えてみる	講義 ・ 演習	
受講上の注意 自分の普段の言葉遣いと比較しながら、考えてみる			関連科目 倫理学 基礎看護技術Ⅱ(ヘルスアセスメント・VS・記録・報告)	
事前および事後学習 ・事前学習:講義該当部分の講義資料、教材を事前に読んで授業に臨む。 ・事後学習:授業終了後は、講義資料、教材を復習する。				
成績評価の方法 作文80% 授業参加度20%				
教科書・参考書・その他の教材 テキストに代わる講義資料は、適宜配布 参考書:『日本語作文術』野内良三 著(中公新書)、『「論理思考」の本』後 正武 著(PHP研究所)				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
情報科学 I	1年前期	1	15	(実務経験として9年)
科目のねらい				
情報化社会において学習活動を行うための最低限度の基礎知識技能を身につけ、個人情報の意味や課題などを学び情報を扱う際の情報倫理について習得する				
到達目標				
1. 情報科学における基礎的知識をもとに、コンピュータとセキュリティについて理解できる 2. インターネットを用いた情報収集の仕方が理解できる 3. 情報倫理の意味と情報を扱う上での情報セキュリティの方法が理解できる				
DPとの関連				
◎2.人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。 ◎5.身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1 ・ 2	1. 情報科学の基本的知識を理解する	1. 情報の定義と特徴 1) 情報とは 2) 情報の特性 3) 情報の認知と意思決定 4) 情報の伝達と意思決定	講義	
		2. 社会と情報 1) インターネットのしくみとネットワーク 2) 情報通信技術 (ICT) とその活用 3) 進みつつある社会の変化 Society5 lot	講義	
3 ・ 4	2. コンピューターとセキュリティについて説明できる	1. コンピュータに関する基礎知識 1) コンピュータの種類 2) コンピュータの構成要素 3) ファイルシステム	講義・演習	
		2. インターネットに関する基礎知識と注意点 1) インターネットのしくみ 2) 電子メールのしくみと機能 3) ソーシャルメディア 4) コンピュータリスクにおけるリスクと自衛		
5 ・ 6	3. 既存の情報の収集方法が説明できる	1. 文献検索 1) 文献とは 2) 文献を探す方法と管理する方法	講義・演習	
		2. インターネット上で役立つ情報へのアクセス 1) ウェブサイトの閲覧方法 2) 検索エンジン・データベースの使い方 3) インターネット上の保健医療情報の見方 3. データ検索と利用		
7 ・ 8	4. 情報倫理の意味と医療の関係が説明できる	1. 情報倫理とは 2. 知的財産権の尊重 3. プライバシーの尊重 4. 情報の公正な提示 5. 危害を与えないこと	講義	
受講上の注意			関連科目	
情報の持つ意義について理解し、情報化社会で活動できるための知識、技能を習得しましょう			看護研究 臨地実習	
事前および事後学習				
<ul style="list-style-type: none"> 事前学習：講義該当部分のテキスト、その他の教材を事前に読んで授業に臨む。 事後学習：授業終了後は、テキスト、その他の教材を復習する。 				
成績評価の方法				
筆記試験100%				
教科書・参考書・その他の教材				
中山和弘 系統看護学講座 別巻 看護情報学				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
情報科学Ⅱ	1年後期	2	45	(大学講師として21年) (認定看護管理者として 年)
科目のねらい 看護専門職として基本的な情報リテラシー(情報活用能力)を習得する				
到達目標 1. 情報システムが、看護用語と看護の質指標、電子カルテなど医療の現場においてどのように活かされているか理解する。 2. 新しい情報を作成し、広める方法として、看護研究に必要な基礎的統計処理や発表の方法を理解する。				
DPとの関連 ◎2.人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。 ◎5.身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	1. 看護と情報の関係について説明できる	1. 看護用語における情報 1) 看護におけるデータ・情報・知識 2) 看護の標準化 3) 看護の標準化と看護 4) 看護の質指標	講義	
2 ・ 3	2. 医療における情報システムについて説明できる	1. 医療における情報の記録 1) 医療記録における法令上の記載 2) 医療記録・情報を共有するための方法 3) 看護記録の開示とガイドライン 2. 病院情報システムと記録の仕方 1) 病院情報システム 2) レセプト 3) オーダリングシステム 4) クリニカルパス 5) 診断群分類(DPC) 6) 医療用画像管理システム(PACS) 7) 医療過誤防止システム 8) 入院患者ケアシステム 9) 看護管理・業務支援システム 10) 病棟管理支援システム 11) 院内eラーニングシステム	講義	
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13	3. エクセルによる統計解析が一部実施できる	1. エクセルの基本操作 2. データの種類と単純集計 3. 正規分布の特徴 4. 統計的推計と95%信頼区間 5. 検定と分析 6. 一般的な検定の流れと2種類の過誤 7. 標本のデータ間の各種検定 8. エクセルによる各種平均の検定 9. 量的データと量的データの関係を調べる 10. 散布図と回帰分析	講義	
14 ・ 15 ・ 16 ・ 17 ・ 18	4. ワードを用いて文字情報の整理ができる	1. ワードプロソフトの使い方 1) ページ設定 2) 文章の入力 3) 挿入 4) 参考資料 5) 校閲	講義 演習	
19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23	5. データをレポートとしてまとめたものを口頭やポスターで発表することができる	1. 口頭発表とポスター発表 1) プレゼンテーションとは 2) 口頭発表とポスター発表の違い 3) プレゼンテーションの構成 4) 資料の作成と事前準備 2. インターネットにおける発表とコミュニケーション 1) ウェブサイトでの発表 2) ソーシャルメディアの利用	講義 演習	

受講上の注意 <p>パソコンを使用し、予習・復習を行う</p>	関連科目 <p>情報科学 I 看護研究 看護管理</p>
事前および事後学習 <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習：講義該当部分のテキスト、その他の教材を事前に読んで授業に臨む。 ・事後学習：授業終了後は、テキスト、その他の教材を復習する。 	
成績評価の方法 <p>課題 100%</p>	
教科書・参考書・その他の教材 <p>教科書 医学書院 系統看護学講座 別巻 看護情報学 第3版 2021年</p>	

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
教育学	1年前期	1	30	(大学教授としてとして10年)
科目のねらい				
看護職として対象者や家族の健康維持・増進に関する知識や方法を助言していく、そのために必要な知識・技術を学ぶ。				
到達目標				
1. 教育の基本的概念について理解する 2. 実際の学校教育の現状やその内容を理解する 3. 看護職に必要な教育の考え方や教育方法・教育評価について理解する				
DPとの関連				
◎3.看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。 5.心身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	1. 教育の概念を通して、教育とは何かを説明できる	1) 形成と教化 2) 学ぶー教えるということ 3) コミュニケーションとして教えること:看護ケアとの関連	講義	
2	ライフステージごとの発達と教育段階を説明できる	1) 幼児期の「基本的信頼」:ピアジェ 2) 成人期の「自己実現」:マズロー 3) 青年期アイデンティティの確立:エリクソン	講義	
3	日本における初等学校の現状と課題について説明できる	1 学級担任制における教育指導 2. 学級集団の教育作用 3. 家庭と学校	講義	
4	日本における中等学校の現状と課題について説明できる	1 教科担任制における教育指導 2 生徒指導における規範の学習 3 中一クライシス	講義	
5	障害児教育について説明できる	1. 障害・教育・看護 2. 特別ニーズ教育 3. 障害にどう向き合うか	講義	
6	養護について説明できる	1. 養護とは 2. 学校における養護の過程 3. 学校における保健室の存在と役割	講義	
7	教育方法としての「授業」の構成と教育効果を説明できる	1 コミュニケーションとしての授業:対話的・深い学び 2 教えー学ぶ関係で起こること 3 学力の定着と洞察	講義 演習	
8	アクティブラーニングの教育方法と教育効果を説明できる	1 「真正な」経験学習としてのアクティブ・ラーニング 2 プロジェクト・メソッド 3 達成評価	講義 演習	
9	協同学習の教育方法と教育効果を説明できる	1 課題解決のための協同学習 2 カンファレンス 3 ジクソー法	講義 演習	
10	教育メディアによる教育方法と教育評価を説明できる	1. 直感教育とメディア・リテラシー 2. 非言語的メッセージとメディアリテラシー 3. 看護とメディア	講義 演習	
11	シミュレーションの教育方法と教育効果を説明できる。	1 教育メディアとしてのシミュレーション 2 教材としてのインシデント・プロセス 3 ルーブリック:OSCE-R法	講義 演習	
12	教育の目標と評価について説明できる	1. PDCの改善サイクル 2. パフォーマンス評価 3. 評価の開発と実践	講義	
13	キャリア教育について説明できる	1. キャリア教育とは 2. 看護専門職のキャリア教育 3、これからのキャリア教育	講義	

14	生涯教育について説明できる	1. 生涯学習の必要性 2. 成人はどこで学ぶか 3. 成人はどのように学ぶか、アンドラゴジー	講義	
15	振り返りにより確かな学力を習得できる	1. 振り返りポートフォリオ 2. 探求課題の発見	講義	
受講上の注意		関連科目		
看護学との関連性を考えながら、講義に臨む		基礎看護学 成人看護学 老年看護学 地域・在宅看護論	小児看護学 母性看護学	
事前および事後学習				
1. 必要な時間:15時間 2. 事前学習:テキスト講義該当部分を事前に読んで、授業に臨むこと 3. 事後学習:看護学を学ぶ上で基盤となる学問である。授業終了後は整理を行いテキスト・参考書を振り返る				
成績評価の方法				
筆記試験100%				
教科書・参考書・その他の教材				
教科書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 教育学 第8版 2021年				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
心理学	1年前期	2	30	(臨床心理士として14年)
科目のねらい 心理学の基本的な概念について学び、日常生活における思考や感情、行動について心理学的な側面から考え、理解する				
到達目標 1. 心理学の基本的概念について理解する 2. 人間の思考・感情・行動について心理学的な視点から理解できる				
DPとの関連 ◎1. 多様な文化や価値観を受け入れ、対象を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として捉えることができる。 ◎2. 人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1 2 3 4 5 6 7 8	1. 心理学の基本的概念について述べることができる	1. 心理学とは 2. 感覚と知覚 3. 記憶 4. 思考・言語・知能 5. 学習 6. 感情と動機づけ 自己効力感 学習性無力感 マズローの欲求段階説 7. 性格とパーソナリティ レヴィンの構造論 フロイトの構造論 防衛機制 8. 社会と集団	講義	
9 10	2. 人間の発達について説明できる	9. 発達の定義 ・発達の段階と課題 エリクソン、ハヴィーガースト ・発達の要因 ・乳幼児の発達 ピアジェ 愛着の形成 第一反抗期 ・児童・青年の発達 ギャングエイジ 第2反抗期 自己概念とアイデンティティ モラトリアム ・成人・高齢者の発達 職業的キャリアの発達 レビンソン	講義	
11 12 13 14 15	3. 心の適応と不適応、心理療法について説明できる	10. 心理臨床 心の適応と不適応 ・ストレスと汎適応症候群 セリエ ・ストレス理論 問題焦点型情動焦点型 ACタイプ ・心身症と適応障害 ・パーソナリティ障害 心理療法 ・心理療法とカウンセリング ・精神分析療法 ・行動療法 ・来談者中心療法 ・認知行動療法	講義	
受講上の注意 講義に出てくる内容を自分の事として捉え、考えること			関連科目 看護者のための心理学 基礎看護学概論 看護基本技術Ⅰ 看護基本技術Ⅲ 精神看護学概論	
事前および事後学習 1. 必要な時間:15時間 2. 事前学習:テキスト講義該当部分を事前に読んで、授業に臨むこと 3. 事後学習:看護学を学ぶ上で基盤となる学問である。授業終了後は整理を行いテキスト・参考書を振り返る				
成績評価の方法 筆記試験 100%				
教科書・参考書・その他の教材 教科書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 心理学 第6版 2021年 参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版 2021年 樫村通子 心を大切にする看護 日本評論社 第1版 2015年				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
看護者のための心理学	1年後期	1	30	(非常勤講師として8年)
科目のねらい				
人間関係を築くためには、対象としての人間を理解するとともに自己理解が大変重要である。自己理解することからストレス社会に対応していけるよう自己を大切にすることを学ぶ				
到達目標				
心理学視点から、他者が抱えている悩みへの共感や、感情的認知的理解、人間関係の基礎的知識を理解する。また、看護者自身が自分の存在や感情を大切にできるように、自分を表現し、自分を理解し、自分を大切にすることがわかる				
DPとの関連				
◎5.心身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	1. 人間関係とは何かについて説明ができる	人間関係論とは	講義	
2	2. 自己認知について説明ができる	自己概念、自己評価、関係的自己、自己呈示	講義	
3	3. 性格認知、向性検査について説明ができる	性格認知、向性検査7	講義	
4	4. 対人認知について説明できる	対人認知、印象形成、バイアス	講義	
5	5. 防衛機制の投影について説明できる	抑圧と投影、ユングの無意識、影、コンプレックス7	講義	
6	6. 受容と共感について説明できる	受容、共感	講義	
7	7. 感情、行動、症状の意味を考察することができる	感情・行動・症状のつながり、感情の意味、症状の意味、行動の意味	講義	
8	8. 防衛機制の転移と逆転移について説明できる	転移、逆転移	講義	
9	9. 看護職とバーンアウトについて説明できる	看護師のストレスと患者のストレス、対人援助職のストレス	講義	
10	10. 自分を大切にする意味を理解できる	自分を理解し受け入れる、自分を守る、自分を語る、過去を大切に	講義	
11	11. ストレスマネジメントの方法が説明できる	マインドフルネス、セルフコンパッション、レジリエンス、ストレングス、	講義	
12～15	ストレスマネジメントの実践できる	マインドフルネスの実際	講義 演習	
受講上の注意			関連科目	
目的を意識をもって、この講義に臨む			心理学 基礎看護学概論 精神看護学	
事前および事後学習				
1. 必要な時間:15時間 2. 事前学習:テキスト講義該当部分を事前に読んで、授業に臨むこと 3. 事後学習:看護学を学ぶ上で基盤となる学問である。授業終了後は整理を行いテキスト・参考書を振り返る				
筆記試験 50% 課題レポート 50%				
教科書・参考書・その他の教材				
教科書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第3版 2021年				
参考書 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 心理学 第6版 2021年 檜村通子 心を大切にできる看護 日本評論社 第1版 2015年				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
スポーツと科学	2年 後期	1	30	(大学講師として28年)
科目のねらい 生涯スポーツの意義を理解し、健康的な生活をするための基礎を構築する				
到達目標 1. スポーツ本来の楽しさや意義を理解し、生涯にわたって運動に親しむ意識を養うことができる 2. 疾病予防・健康の保持増進に必要な身体活動・運動の方法論や技術を習得し、日常生活の中に取り入れ、健康づくりに生かすことができる				
DPとの関連 ◎5.心身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1 2	1. 健康と運動の必要性について述べることができる	1. 健康とは、運動の必要性 2. 健康の保持増進に必要な身体活動量について 3. 脂肪蓄積のメカニズムとその影響 4. 肥満の種類とその判定方法 5. 筋生理とロコモシンドローム 6. 筋トレのメカニズム	講義	
3 4	2. 生活習慣病の予防と運動の関連を知り、実践する	1. ウォーキング 速度と心拍数 歩数測定	実技	
5	3. 健康づくりのための身体活動を実践する	1. 体力テスト 体脂肪率 腹囲測定 柔軟性	実技	
6 7 8 9 10 11 12 13	4. レクリエーションスポーツを通して仲間とのコミュニケーション能力を高めることができる 5. レクリエーションスポーツの基礎技術を習得できる 6. チームの戦略を考察し、実践できる 7. ゲームを楽しむことができる	1. レクリエーションスポーツ バレーボールチーム編成 チームリーダー役割 リーダーシップ 2. 基礎練習 ゲーム 3. レクリエーションバレーの実践 状況に応じたチーム編成 支柱、ボールタッチ、守備、攻撃など	実技	
14 15	8. 運動と代謝の関係について説明できる	1. 感情の発散と抑圧の違い 2. 毎分心拍数の測定の意義	講義	
受講上の注意 レクリエーションスポーツに参加する場合は、体調を整えておく			関連科目 看護基本技術 I	
事前および事後学習 1. 必要な時間：15時間 2. 事前学習：日常的に運動をしておく				
成績評価の方法 課題レポート40% 授業への参加及び学習状況60%				
教科書・参考書・その他の教材 教科書 資料配布				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
倫理学	1年 前期	1	30	(大学講師として36年)
科目のねらい 専門職業人としての倫理を学ぶ土台として、社会人としての倫理観を育成する。				
到達目標 1. 倫理学の根本問題を把握し、生きる意味を考える。 2. 人間関係を成立させる行動規範を人格・人権・人命を尊重することから理解する。				
DPとの関連 ◎1. 多様な文化や価値観を受け入れ、対象を身体的・精神的・社会的に統合された生活者として捉えることができる。 ◎2. 人を尊重し、思いやりの心をもって行動することができる。 3. 看護の対象となる人々の健康上の課題に対し、科学的根拠に基づく知識・技術を習得し、看護実践ができる。 5. 心身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1 2	1. 倫理学とは何かを知ることができる。	倫理学の基礎知識 1) 倫理学とは何か 2) なぜ倫理学を学ぶのか 3) 倫理と宗教 4) 倫理と道徳 5) 倫理と法	講義	
3 4	2. 人生哲学としての倫理学を理解する	哲学とは何か: 世界観・人生観の学 哲学体系の中の倫理学: 人間観・人生観の学	講義	
5 6	3. 倫理学・倫理思想の歴史を概観できる	1) 古代ギリシャの倫理思想(プラトン、アリストテレス) 2) 中世キリスト教の倫理思想(信と知) 3) 近代以降の倫理思想(デカルト、カント、ヘーゲル)	講義	
7 8	4. 人生上の究極的課題「生と死」・「連帯と孤独」を究明する	1) フランクルの「人生の意味」 2) フロムの「人間性の倫理」	講義	
9 10 11 12 13 14 15	5. 宮澤賢治の作品を通して「生きる意味」や「人格的成長」について考え、表現できる	1) 神話的思考と論理的思考 2) 東洋の倫理思想 3) 宮澤賢治の生涯と世界観・人生観 4) 人間性への志向 5) 社会の構造と個人の責任 6) 人間教育のあり方 7) 科学技術の役割と科学技術者の使命 8) 「献身」の意味	講義	
受講上の注意 自分のノートを作ること。			関連科目 論理学、医療と倫理、精神看護学概論	
事前および事後学習 事前にテキストを読んでおくこと。				
成績評価の方法 作文80%、授業参加度20%				
教科書・参考書・その他の教材 『新編・風の又三郎』 宮澤賢治著(新潮文庫)				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者	
英 語	2年前期	1	30	(大学講師として36年)	
科目のねらい					
医療・看護の現場では、外国人とのコミュニケーションの場面、カルテや文献中の英語を使う機会が増えているため、読む・書く・話すという英語の基本的能力を養うことができる。					
到達目標					
1. 日常生活や看護の場面における簡単な英会話の能力を身につける。 2. 医療・看護に関する外国文献・資料を読んで理解できる英語力を身につける。					
DPとの関連					
◎1. 多様な文化や価値観を受け入れ、対象を身体的・精神的・社会的に統合された生活者としてとらえることができる。					
授業計画					
回	目標	学習内容	方法	担当	
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・「文法」「読む」「書く」「話す」ための基礎力を身につける。 ・英文読解・英文音読・文法・会話を習得する。 ・医療・看護の現場における英会話を身につける。 ・医療・看護の現場に必要な英単語を習得する。 	Dictationを通じて理解力を深める。 ・身体に関する文章を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。	講義 GW		
3 4		Dictationを通じて理解力を深める。 ・身体症状に関する文章を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。	講義 GW		
5		Dictationを通じて理解力を深める。 ・診療科名専門医を英語で理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。	講義 GW		
6		Dictationを通じて理解力を深める。 ・英字新聞を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。	講義 GW		
7		Dictationを通じて理解力を深める。 ・応急手当、救急、病気に関する文章を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。 病院外来での対応 1) 症状の尋ね方、症状の表現	講義 GW		
8		Dictationを通じて理解力を深める。 ・診療、医療処置に関する文章を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。 病院外来での対応 2) 日時の表現方法、病歴の尋ね方	講義 GW		
9		Dictationを通じて理解力を深める。 ・医療アドバイス、薬に関する文章を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。 病院外来での対応 3) 薬の飲み方、頻度の表現方法	講義 GW		
10		Dictationを通じて理解力を深める。 ・医療アドバイス、薬に関する文章を読み理解する。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。 病院外来での対応 4) 検査の説明の仕方	講義		
11		Dictationを通じて理解力を深める。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。 入院中の患者との対応	講義		
12		Dictationを通じて理解力を深める。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。 グループワーク	講義		
13		Dictationを通じて理解力を深める。 ・DictationCheckにより個人の理解力を確認。	講義		
14 15		Dictationを通じて理解力を深める。 ・各個人の英語の理解力テスト、筆記テスト。 重要表現テスト	講義		
受講上の注意		関連科目			

- ・受講範囲のテキストを事前に音読しておく。
- ・医療・看護に関する外国文献・資料を読んで理解できる英語力を身につける。

薬理学
治療論
診療補助技術Ⅱ

事前および事後学習

- ・事前学習：講義該当部分のテキスト、その他の教材を事前に読んで授業に臨む。
- ・事後学習：授業終了後は、テキスト、その他の教材を復習する。

成績評価の方法

Dictation20% 個人英語確認・会話テスト10% 筆記試験70%

教科書・参考書・その他の教材

クリスティーンのやさしい看護英会話（医学書院）
その都度資料提示する。

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
社会学（家族関係論）	1年後期	2	30	(大学講師として20年)
科目のねらい				
「社会の中の人間」を多面的に理解することは、看護や医療においても重要な意味をもつ。この科目では、社会学の視点をつうじて、そのために必要なものの見方・考え方を学ぶ。				
1. 社会学の基礎概念を理解する。 2. 健康・病気と社会がどのようにかかわっているかを理解する。 3. 社会の中の家族についてその機能や課題を理解する。				
DPとの関連				
◎5. 心身の健康を自ら保持し、看護専門職として、常に探求心をもって主体的に行動ができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1 2 3	1. 社会学の基礎概念を説明できる	1. 社会的なものへの見方へ：社会的想像力と看護 2. 社会的存在としての人間：「社会の中の人間」を理解する 3. 個から関係へ：相互依存の網の目 4. 日常生活の構造 5. 現実の多面性：「他者理解」のための社会学	講義	
4 5 6	2. 健康・病気と社会がどのようにかかわっているかを説明できる	1. 健康・病気についての社会的な見方 2. 生物学モデルと生物心理社会モデル 3. 日常の医療化とその問題点 4. 三つの病：疾病・病い・病気 5. 病と健康の社会学①：意味づけのとしての病 6. 病と健康の社会学②：疾病構造の変化と健康観の変容 7. 健康不安と現代社会	講義	
7 8	3. 健康・病気の社会性について説明できる	1. 何が健康を決めるのか？：健康の社会性・多次元性 2. 健康・病気と社会格差：社会的想像力と社会疫学	講義	
9 10 11	4. 患者-医療者関係とコミュニケーション・意思決定モデルについて説明できる	1. 患者-医療者関係を理解するためのいくつかの視点 2. 患者-医療者関係の変化と意思決定のモデル 3. ヘルスリテラシーのための社会学と批判的思考	講義	
12	5. ジェンダーとケアの社会学	1. ジェンダーとは何か：男である/女であることの多次元性 2. ジェンダーとケア 3. ジェンダーと感情労働・看護	講義	
13 14 15	6. 家族の現在と医療・ケアの関係を説明できる	1. 「家族」を考えることの重要さと困難さ 2. 家族を理解するための視点①：関係・構造 3. 家族を理解するための視点②：機能・意味 4. 「社会の中の家族」とその変容 5. 家族の変容とケアのありか：医療とその他	講義	
受講上の注意		関連科目		
資料を配布して授業を行う。重要な点についてはノートを取り、資料とあわせて各自で整理しておくこと。		保健医療論 社会福祉・社会保障論 看護学概論 在宅看護論		
事前および事後学習				
1. 必要な時間：15時間 2. 事前学習： 3. 事後学習：授業の後に復習を行う（授業ごとのふりかえりが、次の内容の事前学習にもなる）				
成績評価の方法				
筆記試験100%				
教科書・参考書・その他の教材				
資料配布				

科目名	開講時期	単位	時間数	担当者
ボランティア論	1年前期	1	15	(大学講師として31年)
科目のねらい 地域や社会に対するボランティアについての理解を深め、ボランティア活動の楽しさや、喜び、活動の多様性を感じ、社会とのつながりについて考えることができる。				
到達目標 1. ボランティアの概念、活動の原則について理解する。 2. 世界と日本のボランティアの背景、現状、課題について学ぶ。 3. 日本におけるボランティア活動の諸相、活動の実態、意義、課題について知り、ボランティアを理解する。				
DPとの関連 ◎4.保健医療福祉チームの一員として多職種と協働し、地域共生社会における看護の役割と責任を理解することができる。				
授業計画				
回	目標	学習内容	方法	担当
1	1. ボランティアの性格・目的、関連する思想について説明できる	1. ボランティアとは何か 1) ボランティアの歴史 2) ボランティアの概念 3) ボランティアの特徴 4) ボランティアの原則	講義	
2	2. ボランティア活動の現状と課題と動向を説明できる	1. ボランティアの現状と広がり 2. ボランティア活動の課題と動向 NPO法(特定非営利活動促進法)、地縁型組織 テーマ型組織、CRS(企業の社会的責任)	講義	
3	3. ボランティアと現在社会の関係について述べる	1. ボランティアと現在社会 2. ボランティア活動と社会福祉協議会 インフォーマルサービス 福祉コミュニティ QOL 社会福祉協議会、ボランティアセクター	講義	
4	4. 日本におけるボランティアの普及・推進の歩みについて述べる	1. 民間ボランティア活動推進機関の始動 2. 新しい市民社会創出に向けて 阪神淡路大震災 ボランティアコーディネーター	講義	
5	5. ボランティア活動に期待される社会的役割を感じる	1. ボランティアという学び 2. ボランティアという自己実現 3. ボランティア活動の社会的役割	講義	
6	6. 社会に必要とされるボランティアについて説明できる	1. 地域ボランティア活動事例	講義	
7	7. 環境とボランティアについて説明できる	2. 環境ボランティアの具体的活動事例	講義	
8	8. 災害ボランティアについて説明できる	3. 災害ボランティアの具体的活動事例	講義	
受講上の注意 教科書を事前に読んでおくこと			関連科目 社会福祉・社会保障論 在宅看護論	
事前および事後学習 1. 必要な時間:30時間 2. 事前学習 :該当箇所は事前に読んで講義に参加する 3. 事後学習 :学んだことをもとにできることを考える				
成績評価の方法 授業への意欲・授業参加状況 30% 筆記試験70%				
教科書・参考書・その他の教材 教科書 柴田謙治・原田正樹・名賀亨著 ボランティア論 広がりから深まりへ みらい 参考書 岡本栄一他 ボランティアのすすめ 基礎から実践まで ミネルヴァ書房 内海成治 中村安秀 新ボランティア学のすすめ 昭和堂				